

平成26年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月5日

上場取引所 東

上場会社名 ティーライフ株式会社

コード番号 3172 URL <http://www.tealifeir.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植田 伸司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長

(氏名) 鈴木 守

TEL 0547-46-3459

四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第1四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	1,306	—	39	—	44	—	20	—
25年7月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年7月期第1四半期 29百万円 (—%) 25年7月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第1四半期	4.91	—
25年7月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、平成25年7月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年7月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年7月期第1四半期	4,279	3,453	80.7	812.53
25年7月期	4,328	3,521	81.4	828.70

(参考) 自己資本 26年7月期第1四半期 3,453百万円 25年7月期 3,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	23.00	23.00
26年7月期	—	—	—	—	—
26年7月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,180	17.2	216	41.0	223	37.9	129	38.3	30.37
通期	6,587	17.0	556	26.8	540	18.7	318	12.4	75.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年7月期1Q	4,250,000 株	25年7月期	4,250,000 株
② 期末自己株式数	26年7月期1Q	57 株	25年7月期	57 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年7月期1Q	4,249,943 株	25年7月期1Q	4,250,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

平成25年7月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策を背景とし、景気回復の兆しが見え始めたものの、原材料価格の上昇や電気料金の値上げ、新興国経済の成長鈍化などもあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

小売業界におきましては、個人消費回復への期待感はあるものの、厳しい所得環境に加え、物価上昇に対する懸念や来年4月に消費税率の引上げが予定されるなか、先行き不安感を背景として消費者の生活防衛意識は高まっており、業態を問わず企業間競争が激しさを増しております。

このような環境のなか、当社グループ（当社及び連結子会社）は、お客様の豊かで潤いのある生活のサポートをミッションとし、永続成長の足固めを目指した中期経営計画をスタートさせており、商品やサービスにおける差別化戦略の推進とともに、顧客開拓コストの最適化を軸とした収益構造の見直しやグループシナジーの具現化、M&Aの活用などを進め、持続的な成長を支える経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,306百万円、営業利益は39百万円、経常利益は44百万円、四半期純利益は20百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、営業利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

(小売事業)

小売事業では、拡大を続けるネット利用者をターゲットとし、ネット媒体での顧客開拓に注力したほか、WEBサイトにおける集客力の強化に努めてまいりました。また、リピート率の高い自社製造商品のサンプル配布や、秋の味覚など季節商品の投入に加え、卸売事業で取扱っている寝具・雑貨類の小売展開を積極的に進めるとともに、今後拡大が見込まれるシニア顧客向けの商品開発に注力してまいりました。また、創立30周年を記念した特定商品30%オフや3,000円の特売商品の展開に加え、お客様から高い支持を得ている商品券セール（商品券、未使用の切手・ハガキ等の手持ちの金券で買い物ができる企画）の開催など独自サービスの推進により、他社との差別化を進めてまいりました。

この結果、売上高は1,029百万円、営業利益は45百万円となりました。

(卸売事業)

卸売事業では、通信販売事業を営む会社に対し、各社のターゲットとする客層に最適な商品を提案するとともに、付加価値の高いオリジナル商品の開発を進め、競争優位の創造に努めてまいりました。また、北欧寝具ダンフィルシリーズの主力商品「フィベールピロー」では、セット販売により値頃感を演出したほか、食品では、果汁を6カ月間かけて熟成醗酵させた「ザクロ酢」や本場韓国産の唐辛子を使用した本格調味料「万能ジャン」などのプロが選んだシリーズの販売促進に注力してまいりました。

この結果、売上高は276百万円、営業損失は6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、4,279百万円（前連結会計年度末比49百万円減）となりました。

流動資産の減少（同40百万円減）の主な要因は、仮払金が増加（同220百万円増）したものの、有価証券が減少（同199百万円減）、現金及び預金が増加（同87百万円増）したことによるものであります。

固定資産の減少（同9百万円減）の主な要因は、投資有価証券が増加（同13百万円増）したものの、のれんが減少（同15百万円減）、ソフトウェアが増加（同6百万円増）したことによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、826百万円（前連結会計年度末比19百万円増）となりました。

流動負債の増加（同13百万円増）の主な要因は、未払法人税等が増加（同93百万円増）したものの、未払金が増加（同69百万円増）、賞与引当金が増加（同28百万円増）、未払配当金が増加（同11百万円増）したことによるものであります。

固定負債の増加（同5百万円増）の主な要因は、繰延税金負債が増加（同5百万円増）したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,453百万円（前連結会計年度末比68百万円減）となりました。

純資産の減少の主な要因は、利益剰余金が減少（同76百万円減）したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.7%（前連結会計年度末は81.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月1日付でコラムジャパン株式会社の全株式を取得し子会社化したことを踏まえ、平成25年9月5日に公表いたしました「平成25年7月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の連結業績予想を次のとおり修正いたしました。

(第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,141	百万円 212	百万円 216	百万円 118	円 銭 27.98
今回修正予想 (B)	3,180	216	223	129	30.37
増減額 (B - A)	38	4	6	10	—
増減率 (%)	1.2	2.2	3.2	8.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成25年7月期第2四半期)	2,714	153	161	93	21.96

(通期の連結業績予想数値の修正)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,300	百万円 529	百万円 514	百万円 287	円 銭 67.67
今回修正予想 (B)	6,587	556	540	318	75.03
増減額 (B - A)	287	26	25	31	—
増減率 (%)	4.6	5.1	5.0	10.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年7月期)	5,629	439	455	283	66.75

(修正の理由)

平成25年11月1日付でコラムジャパン株式会社の全株式を取得したことにより、平成26年7月期第2四半期連結累計期間から同社を連結の範囲に含めることとなるため、平成26年7月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,006,937	919,669
受取手形及び売掛金	612,857	566,619
有価証券	659,867	459,926
たな卸資産	342,275	423,028
その他	74,727	286,301
貸倒引当金	△11,390	△10,315
流動資産合計	2,685,275	2,645,230
固定資産		
有形固定資産	321,315	317,488
無形固定資産		
のれん	260,896	245,550
その他	143,769	134,878
無形固定資産合計	404,666	380,428
投資その他の資産		
投資有価証券	562,028	575,943
その他	358,570	363,308
貸倒引当金	△3,004	△3,016
投資その他の資産合計	917,594	936,235
固定資産合計	1,643,576	1,634,153
資産合計	4,328,851	4,279,383
負債の部		
流動負債		
買掛金	154,442	163,837
未払法人税等	117,347	23,900
賞与引当金	31,392	60,249
役員賞与引当金	15,060	1,862
ポイント引当金	22,931	20,391
その他	231,579	316,479
流動負債合計	572,753	586,719
固定負債		
退職給付引当金	32,850	32,580
その他	201,283	206,865
固定負債合計	234,133	239,445
負債合計	806,886	826,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	356,625	356,625
資本剰余金	326,625	326,625
利益剰余金	2,797,932	2,721,052
自己株式	△34	△34
株主資本合計	3,481,147	3,404,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,817	48,951
その他の包括利益累計額合計	40,817	48,951
純資産合計	3,521,965	3,453,218
負債純資産合計	4,328,851	4,279,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)
売上高	1,306,195
売上原価	442,845
売上総利益	863,349
販売費及び一般管理費	824,203
営業利益	39,146
営業外収益	
受取利息	994
受取配当金	205
保険配当金	2,568
その他	2,149
営業外収益合計	5,918
営業外費用	
支払利息	7
支払手数料	98
その他	100
営業外費用合計	206
経常利益	44,858
特別損失	
投資有価証券売却損	1
特別損失合計	1
税金等調整前四半期純利益	44,856
法人税等	23,987
少数株主損益調整前四半期純利益	20,868
四半期純利益	20,868

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,868
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	8,133
その他の包括利益合計	8,133
四半期包括利益	29,002
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	29,002
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,029,454	276,740	1,306,195	—	1,306,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	188	2,117	2,306	△2,306	—
計	1,029,643	278,858	1,308,501	△2,306	1,306,195
セグメント利益 又は損失(△)	45,793	△6,645	39,148	△2	39,146

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収)

当社は、平成25年10月15日開催の取締役会において、生活雑貨等の卸売業を展開する「コラムジャパン株式会社」の全発行済株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡に関する契約を締結いたしました。当該契約に基づき、平成25年11月1日に同社の全株式を取得し、完全子会社といたしました。

1. 株式取得の目的

当社は、カタログやインターネットを通じて一般消費者に健康・美容関連商品を販売する小売事業を展開しております。一方、「コラムジャパン株式会社」は、欧米メーカーへの日本市場向け商品の企画提案、輸入、販売を手掛ける卸売事業を営んでおります。同社の取扱うブランドのうち、「ルクエ」を筆頭とする特徴的なヨーロッパブランドは、当社のターゲットとする主婦層を中心に国内での認知度が高く、当社グループの販売チャネルを活用することにより、更なる成長が見込まれるほか、相互の商品企画、物流ノウハウの共有により業務の効率化が期待できることから、当社グループの業容拡大及び経営効率の向上に大きく寄与するものと考え、本株式を取得いたしました。

2. 株式取得の相手会社の名称

Coram Sanitary B.V.

3. 買収する会社の名称、事業内容、規模

- (1) 名称 コラムジャパン株式会社
- (2) 事業内容 欧米雑貨の企画開発、輸入及び販売
- (3) 規模（平成24年12月期）
 - 資本金 50百万円
 - 売上高 700百万円

4. 株式取得の時期

平成25年11月1日

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- (1) 取得する株式の数 2,600株
- (2) 取得価額 87百万円
- (3) 取得後の持分比率 100.0%

6. 支払資金の調達及び支払方法

自己資金